じんけんパンフレット

# Flat 2021

Vol.2

## 心の視線の向こうに

八日山から見下ろした新庁舎

西脇市教育委員会

# オリナスから発信する新たな〝じんけん〟の鼓動

## 市民の皆さまへ

西脇市教育長　笹倉　邦好

国際化、情報化が急激に進み、人々の生き方が多様化する中、人権課題はますます多岐にわたり、複雑化してきました。そうした課題の解決には、私たちがあらゆる機会に人権感覚を育み、自他の人権を大切にしようとする意欲や態度を養っていくことが大切になります。本市においては、市民の皆さまの手によってその着実な取組がなされているところです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症抜きには語れない１年になりました。新型コロナウイルスに起因する感染者等への誹謗中傷は喫緊かつ重要な課題となり、本市においても学校園、地域において、啓発資料・ポスター等を活用しながら教育・啓発を推進してまいりました。収束の兆しがなかなか見えてこない現状にあって、今後も粘り強い取組が求められます。一方、コロナ禍におきましても、相手を思いやるちょっとした声かけやさりげない行動により、助け合いの輪が広がり、人と人との繋がりが新たに芽生えてきたようにも感じています。

昨年度「ゆきちゃんからのメッセージ」に代わって、「Flat2020～心の視線の向こうに～」を創刊しました。この度、第2弾として「Flat2021」を発刊いたします。今回も創刊号と同様、人権に寄せる思いや活動をできる限り多く紹介しております。この紙面を通して、本市に脈打つ人権の確かな鼓動を市民の皆さまに感じ取っていただけるよう願っています。

2021（令和3）年3月

◆オリナス・・・市役所新庁舎・市民交流施設の愛称



# この親子の行動にあなたが学ぶとすれば・・・

## ＪＲ西脇市駅近くでのうれしい出来事

2020（令和2）6月、母親と高校生の娘が、道路脇で苦しそうにしている外国出身の女性のそばを通りかかりました。2人は、見て見ぬふりすることなく彼女に近づき、声をかけました。

西脇市在住外国人 32か国 663人（2021.3.1）

# 新しい学校を創造する子どもたち ― 芳田小学校 ―

新型コロナウイルスは、子どもたちの学校生活に大きな影響を及ぼしました。全員がマスクを着け、座席の間隔を空けての学習。そのような中にあっても、子どもたちはしっかり前を向いて学んでいます。

## 正しく知ること

日常生活が制限され、普段どおりの学校生活を送ることができず、不安やストレスを抱える子どもたち。新型コロナウイルスや自分自身の心の状態について学習しました。

**正しい情報源の知識を身につける**ことはもちろん、学んだ知識を実感の伴った理解へと深めることが大切だと思います。そのためには、**みんなで考え工夫したり体験したりすることが大事**です。

西脇市スクールカウンセラー
永浦　　拡先生

## 人権尊重のキーワード「そうぞう」

分からないことが多いために不安を感じ、不安が人から人へと伝染していきます。

不安が心の中で膨らむと、感染に関わる特定の人や地域、職業などを遠避けようとします。

差別を受けるのが怖くて、熱や咳があることを隠せば、結果として感染拡大につながってしまいます。

感染拡大

不　安

差　別

想像

それぞれの場所で、それぞれの立場で、今できることを精いっぱいされています。

感謝

創造

ともに生きる

## 創造すること

集会活動を行えない中、6年生が中心となり、タブレット端末を使ったリモートでのクリスマス集会を企画。コロナ禍でどのように学校生活を楽しむか考え工夫しました。

密を避けるため、みんなで集まることができませんでした。初めてのチャレンジで大変だったけど、みんなが笑って楽しめたので良かったです。

芳田小学校6年　宇仁颯乃香さん

途中トラブルもあったけど、教室から笑い声が聞こえてきて良かったです。これからもみんなで楽しめる企画をしていきたいです。

芳田小学校6年　徳岡　凛音さん

スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ると、資料が表示されます。

新型コロナウイルスに関する資料
日本赤十字社

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!
～負のスパイラルを断ち切るために～」

「ウイルスの次にやってくるもの」

# 「そうしていれば、部落差別はなくなる」ってホント？

## 「人権についての市民意識調査」から考える

2016（平成28）年に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定されました。この法律は、部落差別が日本の社会に現在もなお存在することを公式に認めたものです。これまで、「部落差別があるのか、ないのか」について、考え方や認識の違いの中で、様々な議論が行われてきましたが、この法律を受けて「部落差別のない社会の実現」に向けた国や地方自治体の責務が改めて明らかになりました。

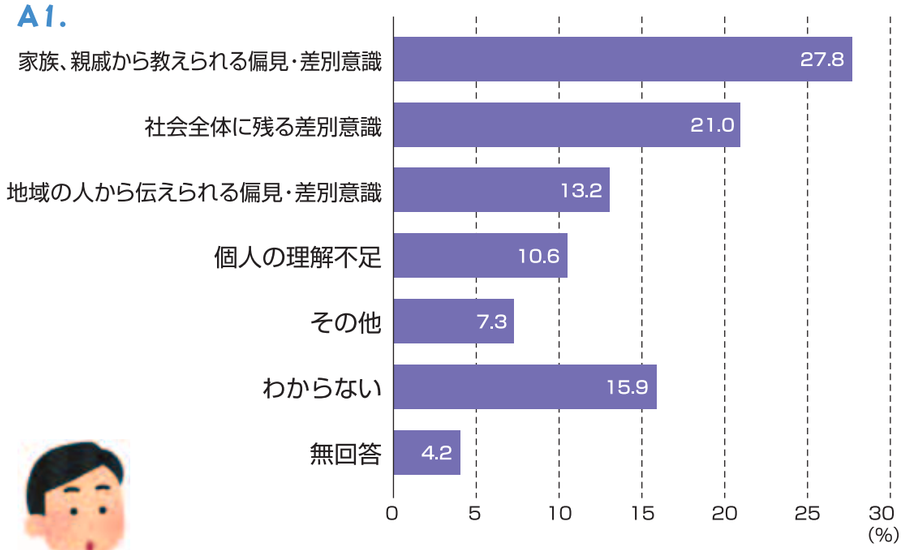
兵庫県では、効果的な人権施策を検討するための基礎資料とするために県民の人権に関する意識調査を行っており、2018（平成30）年に5回目の意識調査が行われました。一方、西脇市では、2019（令和元）年に兵庫県の意識調査と同じ設問項目で「人権についての市民意識調査」を実施しました。

A1、A2①のグラフ「2019（令和元）年度人権についての市民意識調査」（西脇市）
A2②のグラフ　「2018（平成30）年度人権に関する県民意識調査」（兵庫県）

| | 西脇市 | 兵庫県 |
|---|---|---|
| 配布数 | 2,000 | 3,000 |
| 回収数 | 794 | 1,338 |
| 回収率 | 39.7% | 44.6% |

### Q1. 部落差別などの同和問題が生じる原因や背景として、あなたが一番思い当たるのはどれですか

A1.



同和（部落）問題については、親から子、子から孫へ、また、地域社会の中で誤った情報が伝えられてきた歴史があります。

第１回課題別人権研修会（2020.11.26）
演題：「若者が考える部落問題」　講師：内田　龍史さん（関西大学教授）

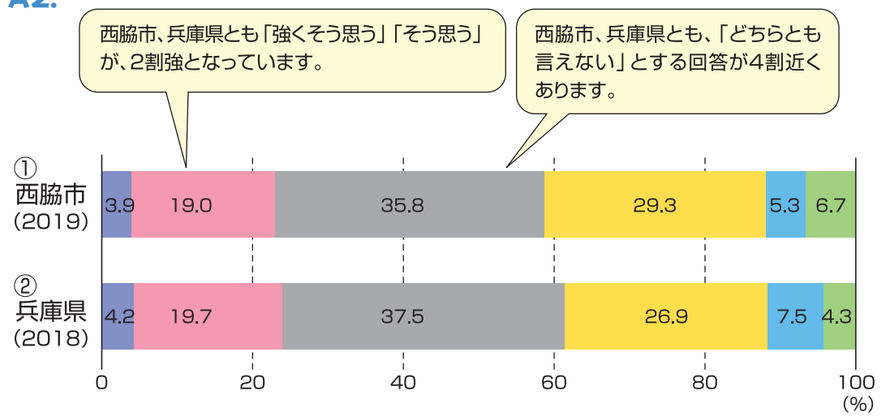
◆参加者の声

「部落差別はちゃんと理解することが必要だと思いました。それこそが解決策だということが再確認できました。」（40代）

「部落問題の今の課題を知ることができてよかった。未だにそんな差別を若い人が受けているのかと驚いた。みんながもっと学習を深めることで差別をなくしていきたい。」（60代）

### Q2. 部落差別などの同和（部落）問題は、口に出さないでそっとしていれば自然になくなるか

A2.




同和地区（被差別部落）のことや部落差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然になくなるという考え方があります。このことについて、同和対策審議会は答申（1965（昭和40）年）の中で、同意できないと述べています。

情報化社会の進展に伴い実に様々な情報があふれている今日、部落差別に関する誤った情報に出合うことも考えられます。このような社会において、そっとしておくことで解決するのでしょうか。

本市においては、「同和（部落）問題は、口に出さないでそっとしていれば、自然になくなる」とは考えていません。A２①のグラフの中で、「どちらとも言えない」と回答されている４割弱の市民の皆さまをはじめ、より多くの皆さんに、「そっとしていてもなくならない」と捉えていただくことが、この問題の解決につながるものと考えます。

2021（令和３）年度も、学校や地域における人権教育・啓発の中で、一人でも多くの皆さんに、この問題に関心をもっていただき、正しい理解につながる学習の場や情報の提供に努めていきます。

From 推進委員

# 外国人との交流を深め、理解するまちへ

## 私たちは、市内各地区で活動する人権教育推進委員です。

推進委員の研修の中で「アフリカの国について、あまりにも知らないことが多く、外国人と同じ町に住むことが不安だという声を聞いた」という意見が出ました。そこで、交流会を開き、出身国のことや、日本に来て思っていることを教えてもらうことにしました。

### アフリカ系外国人との交流会

野村町在住のセネガルとウガンダ出身の4人に来ていただき、西脇市茜が丘複合施設みらいえで交流会を行いました。野村町住民の方にも来ていただき、楽しい時間を過ごしました。

**Q セネガルとウガンダはどのような国ですか？**

私たちの国は、暑い所だけでなく寒い所もあります。セネガルの言葉は、フランス語とウォロフ語です。国技は相撲ですが、人気があるのはサッカーです。ウガンダの言葉はフランス語と英語で、ラグビーが盛んです。主食は、米を食べます。日本の米はアフリカの米よりも粘りがあり、とてもおいしいです。

**Q 日本の生活はどうですか？**

文化や生活など全てが違いました。初めはとても戸惑いましたが、今は集団で生活をしているので、困ることはありません。日本の冬は寒くてびっくりしました。

私たちの国の多くはイスラム教徒です。日本に来てもハラル食品（*1）をネットや市内のスーパーで買うことができます。西脇市のいろいろなお店にもよく行きます。日本の食事はおいしくて、特にラーメンが好きです。

*1）イスラム教の教えに添って食べることが許されている食品や料理のこと。反対に「ハラム」として食べることが禁じられている食品があります。例えば、豚肉、アルコール、豚肉やアルコール由来の調味料など。

## 私たちが学習を通して気づいたことを皆さんに発信します。

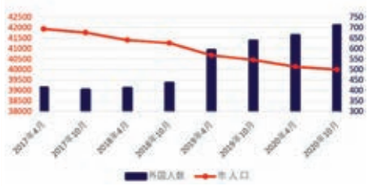
西脇市在住の外国人数
32か国663人。（2021.3.1）
近年、アフリカ系外国人の方が大幅に増えています。

**Q 西脇市に来て困っていることやしてみたいことはありますか？**

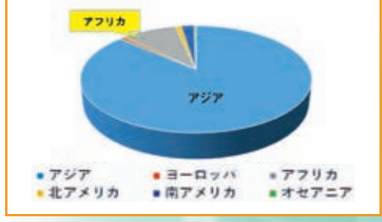
日本はとても安全な国で自由の国です。だから、日本に来ました。皆さんとても優しいです。西脇市の人たちと交流したいです。でも、日本語が勉強できる場所がありません。働きながら勉強できる場所が欲しいです。

サッカーが好きで、宿舎の仲間とチームを組んでプレイしています。西脇市の人と一緒にサッカーがしたいです。一緒にできるチームはありませんか？

西脇市における在住外国人数の推移




大陸別西脇市在住外国人（2020.10）







## 参加された方々の感想

NPO法人　みなみ会
理事　川崎　佳子さん

とてもフレンドリーで親しみやすい人たちでした。日本語を覚えたいという気持ちをもっていることが分かり、これから自分に何ができるか考えていきたいです。

野村町まちづくり推進協議会
会長　前原　義継さん

言葉の壁はありましたが、彼らが日本での生活に安心感をもっていることや、まじめに生きていることなどを知ることができ、よかったです。これから、彼らと住民の親睦を図るような行事を開催できないか考えていきたいです。「しばざくら通りの夏祭り」に参加を呼びかけてはどうかと思っています。

## まずは一歩、こちらから歩み寄ってみましょう！

参加してくださった方がとても気さくであまりの屈託のなさにすぐに打ち解けることができました。西脇市の人とサッカーをしたい、もっと交流したいという願いがあるとわかりましたが、私たち西脇市民はどうでしょう。肌や髪などの外見、言葉の壁など自分と違うことに戸惑い、どう接したらいいかわからず、不安な気持ちになったことはないですか。その不安をなくす１番の方法は、実際に出会い、お互いのことについて話す行動力だと今回の交流会で改めて気づかされました。先入観を捨て、素直な気持ちで接することで心はつながります。互いの違いを知り、認めていくことで幅広い交流関係を築いていけると感じました。

幸せに暮らしたいという思いは、国籍にかかわらずみんな同じです。帰国しても「日本が、西脇市が好き。」という気持ちを変わらずに持ち続けてほしいです。また持ち続けられるような市にしていきたいですね。

セネガルの挨拶は、
左の胸に右手を置いて
「アッサラーマレイクン」と言います。
「あなたに幸福あれ」という意味で
「こんにちは」と同じように
使います。

# 学びを深める地域のみなさん～各町の人権学習会の取組から～

## 津万地区 上野の学習会より

上野では、町内の住民のみなさんにアンケートを実施し、その結果をもとにして学習を進められました。

●上野の前田区長さんにお聞きしました。

アンケートをとられたのは、なぜですか？

町内のみなさんが一人でも多く参加してほしいと思ったからです。そして、それぞれの方からいろいろなご意見を聞きたかったのです。

どんなアンケートですか？

①上野にどんな人権課題やまちづくりの課題があるか、②住民のまちづくりへの参画についてどんな工夫があるかなどについて、書いていただきました。

前田　修平さん

結果はどうでしたか？

アンケートにしっかり答えていただき、文章でお答えいただいた方もたくさんありました。 これを機会に、一人でも多くの人がまちづくりに関心を持ってもらえたら嬉しいです。

●アンケート結果をもとにして、学習会のあり方について話し合われました

「人権も、まちづくりも、自分事として考えてもらうのはなかなか難しいね。」

「町別学習会では、難しい話ではなく、分かりやすい話をしていただいた方がよいと思います。」

「自分の意見を自由に言えることも『人権』につながると思います。」

学習テーマ「心豊かに安心して暮らせる町をめざして」

## 重春地区 高田井町の学習会より

高田井町では、市内にお住まいのネパールの方々と交流を行い、相互理解を深められました。

●高田井町の高瀬区長さんにお聞きしました。

ネパールの方々との交流会を企画された理由は？

立場を自分に置き換えると、こういう地域の人達とふれ合ったり、知り合ったりする場があればありがたいなと思ったからです。交流を深め、心に響くような中味のある学習会にしたいと思いました。

プログラムはどのように作成されたのですか？

高瀬　克義さん

推進員さんと何度も打合せをしました。これからの社会を担う若い人が学んでほしいという願いを持って進めました。事前に、ネパールの2家族からアンケートでご意見をいただき準備を進めました。コロナ対策や託児などにも配慮しました。

●十分な準備があり、9月25日、いよいよ高田井町の学習会です

「交流会の雰囲気はとても良かったです。2つのグループで活発に質問が出されました。参加された方々の言葉への興味関心も高かったです。」

「国際化の時代です。知らない方でも、機会ごとに挨拶を交わしてみることが大切だと思います。差別は知らないことが大きな原因で起こるものです。その人を知って、偏見をなくしていきたいものです。」

学習テーマ「ネパールの方たちと町民の交流」

## こんな取組も…

人権啓発チラシを全戸配布しました

西脇地区人権教育協議会

黒田庄地区
人権のまちづくり協議会

# あかるい職場づくりをめざして～地域でがんばる企業・職場から～

## 事業主のハラスメント防止と対策が義務化

大企業は2020（令和2）年6月から、中小企業は2022（令和4）年4月からスタートします。人権教育企業セミナーの中でハラスメントとは何か、ルールづくりや相談窓口の体制整備等について学びました。

9/4 企業セミナー（ハラスメント対策）
市内事業者等 約20人が参加

従業員の健全なくして
企業の成長はありませんよ。

講師:特定社会保険労務士
沼澤　郁美さん

**まずは、ハラスメントを起こさないことが大切!**

「明日の釣りをひらく」を理念に、釣り道具を製作する

### ハラスメントを生まないために ～地域も心も清らかに～　株式会社 がまかつ

株式会社 がまかつ
総務課･海外販売課
課長　藤澤　伸之さん

余暇活動等を
通して誰でも
話やすい社内
風土づくりを
心がけています。

従業員数は約200人。社会貢献活動（CSR）として年に１回、杉原川を清掃し職場周辺の環境美化に取り組んでいます。参加者からは「気持ちが良い。ボランティアができる良い機会。」と声があり、継続して参加する社員もいます。横のつながりを大切に、社員同士が交流を深め、顔や心が「つながる」イベントを開催。社員だけではなく家族も参加でき社内外でのコミュニケーションの場となっています。他にも西脇市人権教育協議会企業内教育部会の人権教育企業セミナーに参加し情報交換・収集に注力し、地域の一員としてできることに取り組んでいます。

今後も前向きに仕事に取り組むことができる、モチベーションづくりや環境づくりを行っていきます。

### 西脇市人権教育協議会 企業内教育部会では セミナーや研修を企画しています

例えば…女性活躍セミナー、
ハラスメント対策など
**★参加費、無料★**
職場研修で使えるDVDの貸出、講師派遣も行っています。
詳しくは人権教育課まで。

あかるい職場づくりを
めざして研修をしませんか。

企業内教育部会長
株式会社いけうち
工場長　飛田　平さん



## ポスター部門

人権大賞　丸山　早希さん

優秀賞　滝本　美華さん

優秀賞　長井ますみさん

特別賞　山口　真正さん

特別賞　山本　昇司さん

# 人権啓発展 入賞作品

2020.12　みらいえ
2021. 1　ドウジアム

身近な人々やその生活を「人権」の視点で捉えた作品を募集しました。

ポスター、標語、エッセイの3つの部門に123点の応募がありました。入賞作品を紹介します。

＜部門別応募数＞
●ポスター部門　40点
●標　語　部　門　69点
●エッセイ部門　14点

人権大賞／丸山早希さん
未来の自分へ思いを込めました。絵を見た人が笑顔になれる、あたたかい作品をイメージして描きました。

優秀賞／長井ますみさん
コロナ禍で不安なときに送られてきた初孫の写真。暗い世の中に明るい希望が見えました。
平和で幸せな社会であってほしいです。

人権大賞／徳岡朋花さん
家族や友達だけでなく、誰に言われても嬉しい言葉です。私も誰かの力になりたい、役に立ちたいと思っています。

優秀賞／依藤　孝さん
無関心であっては、何をするにしてもうまくいきません。人と人とのつながりが様々な活動の原点です。

人権大賞／遠藤憂子さん
「独りじゃないよ」
「SOSを出していいんだよ」
私と同じように悩みを抱える方たちに伝えたくて書きました。



## 標語部門

### 人権大賞

「ありがとう」すべてをつつむ　魔法の言葉
徳岡　朋花さん

### 優秀賞

とどけよう　少しの勇気に　笑顔をそえて
宮崎智佳子さん

無関心　こころ開けば　つながる絆
依藤　　孝さん

### 特別賞

繋ぎたい　親の想い　子の想い
絹川　万里さん

あいさつに　喜ぶ笑顔の　倍返し
名越　乙江さん

## エッセイ部門

### 人権大賞

ミルク飴のバトン
遠藤　憂子さん

### 優秀賞

少年の戦い
吉原　洋子さん

父が遺したもの
藤本　　忍さん

### 特別賞

思いを伝え、行動を起こす
岸本　信子さん

「今も心に残る三つの言葉」から思う
中村ゆかりさん

掲載できなかったエッセイについては、スマートフォンのカメラでQRコードを読み取るとご覧になれます。また西脇市ホームページでも入賞作品を公開しています。

人権大賞

# ミルク飴のバトン

遠藤　憂子さん

五年ほど前の事である。私は母の介護のため、娘を連れて満員のバスで実家に向かっていた。娘は八か月。退屈なのか、慣れない移動のせいか機嫌が悪く、大声で泣き始めた。母の介護と娘の育児、いわゆるダブルケアの真っ只中にいた私は、毎日とにかく疲れていた。ぐずる娘をあやす気力も無く、ただ身体だけを小さく丸めて周囲の視線から逃れていた。

その時、突然明るい声が降ってきた。

「ごめんねぇ、飴ちゃんしか持ってないの。まだ食べられないよねぇ。でも見てごらん。牛さんの絵が描いてあるのよ。可愛いでしょ。」

顔を上げると、前の席の女性が二コニコ微笑みながら、私の手のひらにミルク味の飴を乗せてくれていた。包み紙の牛のイラストも、私ににっこり笑っている。娘は、カサカサという音に惹かれたのか、泣くのを止めて、私の手の中の飴に小さな手を一生懸命伸ばしていた。

突然の出来事に、私は何が何だかわからなかった。飴？泣き止んでる？お礼、伝えたっけ？気が付くと娘は、イラストの牛と同じように笑っていた。周りの人たちも、良かったね、可愛いねと、微笑んでいた。手のひらのミルク飴は温かく、強張っていた私の身体から力が抜けた。

その頃は、介護も、育児も、できるのは私しかいないのだから「ちゃんと」しなければいけない、迷惑をかけてはいけない、と自分に言い聞かせていた。頑張れば頑張るほど、責任感という呪文が、私の心を凍らせていった。硬くなった心は、やがて多くのものを撥ねつけるようになった。夫の優しさも、義母の気遣いも、娘の表情も見えなくなっていた。身体の自由が利かない母の悲しみを想像する力すら失くしていた。私だけが苦しい。私だけが辛い。私だけが。

一粒の飴が、それは大きな勘違いだと教えてくれた。私の周りには、思いやりや、優しさがたくさんあった。独りではなかった。硬くなった心が、溶けた瞬間だった。

ある日、ミルク味の飴も持て余すほど小さかった娘の手も、今では竹馬を支えるまでに成長した。ここに至るまで、私も、娘も、いったいどれだけ多くの優しさや、思いやりを受け取ってきたのだろう。独りでは決して、ここまで歩めなかった。家族や、仲間や、社会の温かな繋がりの中で、私たちは育ち、生きている。

育児も、介護も、孤独に陥りやすい。独りになる辛さを、私は知っている。そして実は見えなくなっているだけで、多くの繋がりの中に居ることも、私は知っている。

大丈夫。誰も、独りじゃない。

あの日受け取った、思いやりのミルク飴のバトン。次は、私が誰かに渡す番だ。

※写真はイメージです。作品と関係ありません。

# ひとりで悩まないで　〈相　談　窓　口〉

## ○人権全般（インターネット・新型コロナウイルス感染症にかかる人権も含む）に関する相談

| | | |
|---|---|---|
| 西脇市立大野隣保館 | ☎・FAX 0795−23−2290 | 〔平日9：00〜17：45〕 |
| 芳田の里ふれあい館 | ☎・FAX 0795−27−0658 | 〔平日9：00〜17：45〕 |
| 隣保館上野会館 | ☎・FAX 0795−23−3451 | 〔平日9：00〜17：45〕 |
| 黒田庄隣保館 | ☎ 0795−28−2344　FAX 0795−28−2950 | 〔平日9：00〜17：45〕 |
| 神戸地方法務局社支局・社人権擁護委員協議会 | ☎ 0795−42−0201 | 〔平日8：30〜17：15〕 |
| みんなの人権110番（全国共通） | ☎ 0570−003−110 | 〔平日8：30〜17：15〕 |

法務省 インターネット人権相談

（大　人）https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101.html
インターネット人権相談　検索　クリック
最寄法務局から後日メール・電話で回答
又は面談有　24時間受付

（子ども）https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_CH/0101.html
インターネット人権相談　子ども　検索　クリック
最寄法務局から後日メール・電話で回答
24時間受付

（外国語／英語版）https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101_en.html
インターネット人権相談　英語版
Human rights counseling services in English on the internet　検索　クリック
最寄法務局から後日メール・電話で回答
又は面談有　24時間受付

（外国語／中国語版）https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101_zh.html
インターネット人権相談　中国語版
Human rights counseling services in Chinese on the internet　検索　クリック
最寄法務局から後日メール・電話で回答
又は面談有　24時間受付

## ○女性（仕事・家庭・悩みごと）に関する相談

**西脇市男女共同参画センター**　☎ 0795−25−2800
（西脇市茜が丘複合施設　Miraie）　FAX 0795−25−2220
〔毎日9：30〜17：00〕
※月末水曜日（祝日の場合は、以降の最初の平日）と年末年始は閉館
【仕　　事】〔毎月第1金曜・第3土曜 9：30〜12：30〕
※社会保険労務士による相談（要予約）
【仕　　事】〔毎月第2水曜 10：00〜12：30〕
※ハローワーク職員による相談（要予約）
【悩みごと】〔毎月第2木曜 13：30〜15：30〕
※女性人権擁護委員による相談（予約可）

**女性の人権ホットライン**　☎ 0570−070−810
〔平日8：30〜17：15〕

**兵庫県女性家庭センター**　☎ 078−732−7700
「悩みのほっとライン」
〔毎日9：00〜21：00〕

## ○暴力（DV）・虐待に関する相談

**西脇警察署　生活安全課**　☎ 0795−22−0110
〔緊急時は110番通報　24時間対応〕

## ○労働に関する相談

**西脇労働基準監督署総合労働相談コーナー**　☎ 0795−22−3366
〔平日9：00〜17：00〕職場でのトラブル

## ○いのちとこころに関する相談

**兵庫県いのちと心のサポートダイヤル**　☎ 078−382−3566
〔月〜金18：00〜翌日8：30〕
土・日・祝日　24時間

## ○子ども（子育て・教育・虐待・いじめ）に関する相談

**西脇市教育委員会 青少年センター**　☎ 0795−22−8080
〔平日9：00〜17：00〕※教育相談員による相談

**西脇市こどもプラザ**　☎ 0795−25−2801
（西脇市茜が丘複合施設　Miraie）
〔毎日9:30〜17:00〕
※月末水曜日（祝日の場合は、以降の最初の平日）と年末年始は閉館
※臨床心理士による相談（要予約）

**兵庫県加東こども家庭センター**　☎ 0795−27−8250
〔平日 8：45〜17：45〕

**児童虐待防止24時間ホットライン**　☎ 189
24時間対応

**ひょうごっ子悩み相談センター**　☎ 0120−0−78310
24時間対応　子どもＳＯＳダイヤル　通話無料・携帯電話利用可能

**子どもの人権110番**　☎ 0120−007−110
〔平日8：30〜17：15〕　（通話無料）

## ○外国人のための人権相談（がいこくじん　じんけんそうだん）

**Foreign-language Human Rights Hotline**　☎ 0570−090911
**外国語人権相談ダイヤル**（がいこくごじんけんそうだんだいやる）
〔平日（weekdays）9：00〜17：00〕年末年始を除く
※対応言語：英語、中国語、韓国語、フィリピノ語、
ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、
スペイン語、インドネシア語、タイ語

予約が必要なものもあります。今後、日程等が変更になることもありますので、まずは電話でご確認ください。

○発行：西脇市教育委員会 人権教育課　TEL：0795−22−3111（代）　2021（令和3）年3月